



第 3 号

平成17年 7月27日

発行

朝日庄内森林環境保全
ふれあいセンター

朝日山地森林生態系保護地域 第1回管理委員会を開催 - 今年度の実施計画などを審議 -



今年度最初の管理委員会が、6月8日(水)に山形市で開催され、今年度の実施計画について、森林生態系保護地域における歩道のあり方についてなどの審議が行われました。

今年度の実施計画

現在二箇所で行っている森林植生モニタリング調査の調査項目を見直すこと。新たに調査箇所を一箇所追加すること。

溪流魚モニタリング調査は前年同様とすること。また、過去の放流事業により、イワナの遺伝子交雑の可能性が懸念されるので実態調査が必要との意見を受け、事務局として今後検討すること。

ボランティア巡視については、緊急連絡先や連絡事項等を明記した「巡視活動マニュアル」を提案し了承。

保全利用地区と保全地区の区域を示す標識の作成と設置については、前回の委員会での意見を踏まえ、一部設置箇所を変更して提案し了承。

森林生態系保護地域の歩道のあり方

具体的な議論の前に森林管理局としての基本的な考え方を構築するように求められ、次回までに整理すること。

巡視員会議を開催 - 巡視活動マニュアルなど意見交

夏山シーズンの開始に当たり、巡視員会議を6月18日(土)に朝日村で開催しました。

会議は、巡視員:28名、局署等:11名が出席し、最初に、今年新しく加わった巡視員に委嘱状を交付し、今年度の活動方針等について提案して意見交換を行いました。

今年度の巡視員の登録状況は、東北局:65名、関東局:6名で合わせて71名となり、前年度から2名の増加となっています。

会議での意見の概要は次のとおり。

巡視活動マニュアル

- ・ 山菜採り入山者への指導の徹底。
- ・ ルート表示テープは天然素材とすべき。
- ・ 水溶性ティッシュペーパーを使用すべき。
- ・ 猛禽類生息環境への配慮を検討すべきなど。

標識の設置

- ・ 雪対策として秋に回収してはどうか。
- ・ 設置に協力するなど。

合同パトロール

- ・ 色々なコースが可能ではないか。
- ・ 日程は事務局に任せるなど。

巡視情報マップ



- ・ アライグマの生息情報も載せるべきなど。

ボランティア保険

- ・ 残雪上での怪我は対象になるのかなど。

高館山自然休養林で 稚樹の刈出し

7月9日(土)鶴岡市にある高館山自然休養林において、松くい虫被害などにより上層木を欠いた箇所には生育しているクロマツ等の稚樹の成長を促すために、自然保護団体や地元関係者など17名により稚樹の刈出し作業を行いました。



朝日山地森林生態系保護地域 溪流魚モニタリング調査

今年度1回目の溪流魚モニタリング調査が、7月4日(月)～8日(金)に行われました。

積雪を考慮し前年度よりも1ヵ月程遅らせましたが、それでも水量が多いために捕獲作業は難航しました(雨で写真も撮れませんでした)。

2回目の調査は秋(9月頃)に予定しています。

高館山クリーン作戦に参加



今年度の高館山自然休養林保護管理協議会事業計画によるクリーン作戦が、6月11日(土)に実施され、当センターからも参加しました。

クリーン作戦は、協議会関係者など18名が参加し、遊歩道や園地などでゴミの回収を行いました。回収されたゴミは13袋となり、ほかに大量の不法投棄ゴミも発見されました。



山形四中森林整備体験を支援 - クロマツ林で枝打ち -

山形市立山形第四中学校の総合学習と職場体験学習の一環として、7月6日(水)に2年生80名が酒田市の砂防林で森林整備を体験しました。

当センターは県総合支庁や関係団体とともにスタッフとして参加し作業の指導を行いました。



酒田一中森林整備を支援 - クロマツで下刈り・枝打ち -

酒田市立第一中学校は、美しいクロマツ林に囲まれており、この環境を守る具体的な活動を通して、地域の歴史を知るとともに、次世代に引き継ぐ意識の高揚を図るため、7月1日(金)に1年生75名が、学校の周囲のクロマツ林で下刈り・枝打ちの体験をしました。

当センターは県総合支庁や関係団体とともにスタッフとして参加し作業の指導を行いました。



「万里の松原」環境美化活動を支援 - 雑草刈払い・ゴミ拾いなど -

酒田市の「万里の松原」一帯で、6月25日(土)、関係団体などから約160名が参加して、折れた枝や故意に捨てたとみられるペットボトルなどを回収したり、雑草の刈払いなどが行われ、当センターからもスタッフとして参加しました。



第1回森林倶楽部を支援

- 権現山の大カツラと山刀伐峠探訪 -

今年度1回目の森林倶楽部が好天に恵まれた5月28日(土)、山形県最上町で、秋田班:69名、山形班:16名、総勢85名と多くの参加により開催されました。



一足早く最上町に到着した山形班は、幹周り7.7メートルと日本一を誇る「東法田の大アカマツ」を探訪後、最上白川溪流公

園で秋田班と合流し、開会式を行い、「権現山の大カツラ」を目指しました。

途中の歩道沿いに咲いているニリンソウなどの花々を楽しみながら、登るにつれて急になる道を一步一步進んでいくと、目の前に大カツラが現れ、疲れもどこへやら。



「マタギサミットinあさひ」に参加

今年で16回目となるマタギサミットが朝日村で6月25(土)、26日(日)の両日、約140名が参加し開催され、当センターも後援・参加しました。



マタギサミットは、毎年、長野、

新潟、山形、秋田、岩手などの狩猟関係者が中山間地域の生活文化の継承と発展を目指して、問題解決に向けて模索する場として、平成2年に第1回が開催され、以来、毎年各地で開催されています。

初日には、特別講演会として、直木賞作家の熊谷達也氏、秋田市職員の小松武志氏、東北芸術工科大学の田口洋美教授がそれぞれ講演。

二日目には、「狩猟の新しい流れ：若者の声を聞く」をテーマに、尾瀬保護財団の橋本幸彦氏と西興部村猟区管理協会の伊吾田宏正氏からそれぞれの取組などの報告とパネルディスカッションが行われました。



幹周り20メートルの日本一のカツラをバックに記念撮影をして、開会式を行った公園に戻り昼食。

その後、俳聖松尾芭蕉が辿っ

た「山刀伐峠」を散策し、赤倉温泉・大堀温泉で疲れを癒し、全員事故もなく、それぞれの帰路につきました。



朝日連峰夏山開き



朝日連峰夏山開きが、6月19日(日)鳥原山で行われました。当センターからは2名参加し、山形署、置賜署の皆さんと

大江町のブナ峠口から鳥原山を目指しました。今年は天候にも恵まれ、多くの登山者でにぎわいました。

(写真は小朝日岳をバックに大江山岳会の皆さんと記念撮影)

月山夏山開き

月山夏山開きが、7月1日(金)に月山山頂の月山神社で行われました。当センターからは2名参加し、山形署の皆さんと山頂を目指しました。頂上付近はあいにく雨で視界がよくありませんでしたが、ミヤマクロユリやエゾノツガザクラなどの花々を楽しむことができました。



編集後記

ようやく第3号を発行することができました。4月からの取組をまとめました。新鮮さを出すために、写真を多く使うよう心掛けました。

屋外での活動は天候に左右されます。残念ながら雨で取り止めたものもあります。

早くも7月中に台風が本州に上陸しました。去年のように頻りに上陸することのないように願っています。

ボランティア植樹

- 酒田聾学校の子供たちとともに -

庄内海岸林では、松くい虫被害などにより、小規模の無立木地が目立つようになっていました。

このまま放置すると、飛砂や強風から市民生活や田畑などの農地を守っているクロマツ林の持つ公益的機能の低下が懸念されるために、クロマツ林の保全と再生を図る観点から地域と連携して酒田市にある新林国有林「万里の松原」内において、4月14日(木)、山形県立酒田聾学校、万里の松原に親しむ会、庄内海岸のクロマツ林をたたえる会、地元自治会など約100名が参加し、クロマツの植樹を行いました。



聾学校の子供たちは、ボランティアのサポートを受けて、大きく育つように丁寧にクロマツの苗200本を植え、ネームプレートを付けました。



発行

東北森林管理局
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404
山形県東田川郡朝日村下名川字村下97
TEL : 0235-58-1806 FAX : 0235-58-1807
E-mail : t_syounai_f@rinya.maff.go.jp